

検討内容整理表(学識者会議)

学識者名	主なご意見、ご提案、アドバイス等の内容	計画における対応等
石森秀三 委員 (観光文明学)	○「文化遺産」は近畿圏の目指す姿に位置づけるべき。文化創造は重要。	○本物を産み育む圏域を目指す姿に位置づけ、日本文化の中心としての文化首都の推進を戦略に掲げるとともに、「文化首都圏プロジェクト」を圏域を挙げて取り組む主要プロジェクトに位置づけています。
	○また、「観光」も目指す姿として位置づけるべき。	○目指す姿の「～歴史・文化・伝統・景観等の固有資源を核として個性あふれる地域づくりを行い、世界に誇れる歴史・文化圏域となる」の中に観光に関する姿像を含むものとして整理しております。なお、広域観光圏域の形成を戦略に、「広域観光プロジェクト」を圏域を挙げて取り組む主要プロジェクトにそれぞれ位置づけています。
	○限界集落の活性化には観光を絡めた取り組みも大事。	○グリーンツーリズム等を通じた過疎地域と都市との交流を戦略に掲げ、過疎地域等の活性化を目指す計画としています。
大石久和 委員 (国土学)	○東京を二軸を担う圏域として、中部圏との連携を考えるべき。	○首都圏とは異なるもう一つの中心核を目指す姿に位置づけ、隣接圏域との連携強化の戦略を掲げ、中部圏を含む隣接圏と一体となった一大経済圏の形成を目指す計画としています。
	○関西ならではのものを打ち出すべき。	○本物を産み育む圏域を目指す姿に位置づけ、日本文化の中心としての文化首都の推進を戦略に掲げるとともに、「文化首都圏プロジェクト」を圏域を挙げて取り組む主要プロジェクトに位置づけています。
	○関西は一つにまとめることが大事。(組織づくり)	○関西各都市・各地域及び経済界等(=多様な主体)の協働による効率的かつ効果的な計画の推進方策について、現在検討しています。
小田 章 委員 (経営学)	○関西の個性的な都市の個々の力を結集する構図が必要。	○関西各都市・各地域及び経済界等(=多様な主体)の協働による効率的かつ効果的な計画の推進方策について、現在検討しています。
	○関西の伝統・文化を売りに、他圏域との差別化を図ることが大事。	○本物を産み育む圏域を目指す姿に位置づけ、日本文化の中心としての文化首都の推進を戦略に掲げるとともに、「文化首都圏プロジェクト」を圏域を挙げて取り組む主要プロジェクトに位置づけています。
	○人材育成や若者等の人口を増やすための圏域とすべき。	○アジアをリードする世界に冠たる創造・交流拠点を狙う姿に位置づけ、創造性豊かな人材育成・交流拠点の形成、暮らしやすい地方都市圏の形成などを戦略に掲げるとともに、才能ある人材が集まる「次世代産業を創造する「知の拠点」プロジェクト」を主要プロジェクトに位置づけています。
音田昌子 委員 (男女共同参画)	○文化、日本の心を大切にしていける圏域づくりが大事。	○本物を産み育む圏域を目指す姿に位置づけ、日本文化の中心としての文化首都の推進を戦略に掲げるとともに、「文化首都圏プロジェクト」を圏域を挙げて取り組む主要プロジェクトに位置づけています。
	○女性が働きやすい環境づくりが必要。(地域、大学における支援策充実)	○誰もが自立して快適で豊かに暮らせる高福祉圏域を目指す姿に位置づけ、保育施設の充実、地域コミュニティ拠点の整備などを戦略に掲げています。
	○都市の連帯、民の力を活かす仕組みづくりが必要。	○市民、NPO、企業、及び行政等、多様な主体が協働・連携し、計画を効率的かつ効果的に推進する方策について現在検討しています。

学識者名	主なご意見、ご提案、アドバイス等の内容	計画における対応等
桂 明宏 委員 (農業経済学)	○農山漁村の活性化が大事。 (都市と農山漁村との対流、企業力の活用、地域産業の取組 等)	○農山漁村の持続可能な社会形成を目指す圏域像に位置づけ、農林漁業の活性化を戦略に掲げるとともに、二地域居住、都市との共生対流などの「農山漁村活性化プロジェクト」を主要プロジェクトに位置づけています。
	○食料残渣などに対する循環型社会の構築が重要。	○循環型社会の重視を目指す圏域像に位置づけ、廃棄物系バイオマス利活用などの戦略を掲げています。
	○食の安全のPRと地産地消が大事。(安心認証制度)	○地産地消の取組の推進や高品質で付加価値の高い農林水産物・食品の供給を図る戦略を掲げています。
加藤恵正 委員 (地域経済学)	○東大阪などの地場産業などの産業再編や産業におけるイノベーションが大事。	○ものづくり基盤技術産業をはじめ関西の産業全体を牽引する圏域を目指す姿像と位置づけ、次世代産業の育成を戦略に掲げるとともに、「次世代産業を創造する「知の拠点」プロジェクト」を主要プロジェクトに位置づけています。
	○大阪湾ベイエリアの再生を図るべき。	○大阪湾ベイエリアの機能強化と広域ゾーニングの策定を戦略に掲げ、物流拠点・アメニティ創出などの「大阪湾ベイエリア再生プロジェクト」を主要プロジェクトに位置づけています。
	○「新たな公」は先進諸国のような動かす仕組みが必要。	○市民、NPO、企業、及び行政等、多様な主体が協働・連携し、計画を効率的かつ効果的に推進する方策について現在検討しています。
川勝平太 委員 (比較経済史)	○歴史文化はブランドづくりには大切な柱。	○本物を産み育む圏域を目指し、本物を関西ブランドとして発信する「文化首都圏プロジェクト」を圏域を挙げて取り組む主要プロジェクトに位置づけています。
河田恵昭 委員 (巨大災害)	○防災に係る国際拠点をつくるべき。(神戸の集積を活用)	○国際防災拠点となることを目指す姿像に位置づけ、防災における国際貢献を行う等の「広域防災危機管理プロジェクト」を主要プロジェクトに位置づけています。
	○人材育成と人材流出をふせぐことが大事。	○アジアをリードする世界に冠たる創造・交流拠点を目指す姿に位置づけ、創造豊かな人材の育成を戦略に掲げ、才能ある人材が集まる「次世代産業を創造する「知の拠点」プロジェクト」を主要プロジェクトに位置づけています。
	○関西の目指す姿の事後評価が必要。	○計画のモニタリング、フォローアップについて現在検討しています。
黒田勝彦 委員 (港湾・空港計画)	○大阪湾ベイエリアを一大産業地域にすべき。 (港湾空港直結、ポートオーソリティ、レアメタル・リサイクル拠点など)	○大阪湾ベイエリアの機能強化を戦略に掲げ、国際競争力のある成長産業の集積、港湾空港機能が一体となった物流拠点の整備など「大阪湾ベイエリア再生プロジェクト」を主要プロジェクトに位置づけています。
小浦久子 委員 (都市計画)	○関西各都市が自立・連携した仕組みが必要。(流域単位など)	○関西各都市・各地域及び経済界等(=多様な主体)の協働による効率的かつ効果的な計画の推進方策、仕組みづくりについて、現在検討しています。
	○多様な水辺環境を資源と捉えることが重要。	○健全な流域圏と生態系の管理、自然との共生を戦略に掲げ、人と自然のふれあいや水文化の継承などの「水と緑の広域ネットワークプロジェクト」を主要プロジェクトに位置づけています。

学識者名	主なご意見、ご提案、アドバイス等の内容	計画における対応等
小林潔司 委員 (土木計画学)	○関西は一つにまとめることが大事。(共和国でも良い)	○関西各都市・各地域及び経済界等(=多様な主体)の協働による効率的かつ効果的な計画の推進方策について、現在検討しています。
	○計画の実行性と危機感が重要。実行にはエビデンス(証拠)、評価指標、優先順位、ビジネスモデルが必要。	○エビデンス、ビジネスモデルは、計画の策定に向けた検討手法として考慮します。また、評価指標、優先順位は効率的かつ効果的な計画の推進方策の中で、現在検討しています。
	○「新たな公」は、住民が学習し、自ら動くことが大切。	○市民、NPO、企業、及び行政等、多様な主体が協働・連携し、計画を効率的かつ効果的に推進する方策について現在検討しています。
齊藤峻彦 委員 (交通経済学)	○国際交流において、アジアのみではなく北米とのつながりも必要。	○アジアゲートウェイを担う圏域を目指す姿として、世界との海上・航空ネットワークの拡充を図る戦略を掲げています。
	○交通政策の視点での環境対策が必要。	○環境負荷の少ない圏域を目指すし、ITSの整備、TDMの推進、鉄軌道の整備、次世代自動車の導入促進及び総合的な都市環境の改善などを戦略に掲げています。
	○関西の力を結集する意志決定機構、エージェンシーが必要。	○関西各都市・各地域及び経済界等(=多様な主体)の協働による効率的かつ効果的な計画の推進方策、仕組みづくりについて、現在検討しています。
	○地方部の交通の近代化も大事。	○地方部の交通システムの改善を図り、多様な人モノ情報等が都市と農山漁村を往来する戦略を掲げ、都市と農山漁村の対流を促進させる計画としています。
千田 稔 委員 (歴史地理学)	○文化・伝統、精神の細やかさを大切にしていく圏域づくりが大事。	○本物を産み育む圏域を目指す姿に位置づけ、日本文化の中心としての文化首都の推進を戦略に掲げるとともに、「文化首都圏プロジェクト」を圏域を挙げて取り組む主要プロジェクトに位置づけています。
	○日本海側をアジアとの交流拠点として位置づけるべき。(朝鮮半島との文化交流)	○日本海側の交通基盤の総合的な整備を図ることを戦略に掲げ、北東アジア交流圏の形成を目指し、圏域内外の連携・交流を強化する計画としています。
玉岡かおる 委員 (作家)	○輸入に頼らない食を考えるべき。(世代継承する農業)	○地産地消の取組の推進や高品質で付加価値の高い農林水産物・食品の供給を図る戦略を掲げています。
	○地域活性化につながる人材育成が大事。	○アジアをリードする世界に冠たる創造・交流拠点を狙う姿に位置づけ、創造性豊かな人材の育成、地域一体となって教育力を高める等を戦略に掲げ、魅力ある地域づくりの推進する計画としています。
中瀬 勲 委員 (造園学)	○市民参加型の環境プロジェクトが大事。(生涯学習)	○市民、企業、行政が一体となった温暖化防止対策の戦略に掲げ、環境負荷の少ない圏域を目指す「CO2削減と資源循環プロジェクト」を主要プロジェクトに位置づけています。
	○一次産業を基礎とした新産業の展開が必要。(ツーリズム、観光産業)	○農林水産資源を活用した地域産業の展開、農山漁村の多面的機能の保持等を戦略に掲げ、「農山漁村活性化プロジェクト」を主要プロジェクトに位置づけています。

学識者名	主なご意見、ご提案、アドバイス等の内容	計画における対応等
狭間恵三子 委員 (ライフスタイル)	○関西各都市を活かすことが大事。(多中心圏域の活用)	○関西各都市・各地域及び経済界等(=多様な主体)の協働による効率的かつ効果的な計画の推進方策、仕組みづくりについて、現在検討しています。
	○関西は、仕事で自己実現しながら自分の生活も保障できる圏域が売り。	○誰もが自立して快適で豊かに暮らせる高福祉圏域を目指す姿に位置づけ、どこにいても基本的な生活サービスが享受できる環境整備、安全安心で魅力ある地域づくりの推進を戦略に掲げています。
	○食に根ざした生活が強みであることを活かすべき。(自給率向上、地産地消)	○地産地消の取組の推進や高品質で付加価値の高い農林水産物・食品の供給を図る戦略を掲げています。
橋爪紳也 委員 (都市文化論)	○文化によって、立つ圏域と謳うべき。	○本物を産み育む圏域を目指す姿に位置づけ、日本文化の中心としての文化首都の推進を戦略に掲げるとともに、「文化首都圏プロジェクト」を圏域を挙げて取り組む主要プロジェクトに位置づけています。
	○統一コンセプトによる共同観光プロモーションが必要。	○海外プロモーション拠点を通じた関西の魅力発信、海外での誘客イベントなどを戦略に掲げ、観光プロモーションを関西共同で実施する「広域観光プロジェクト」を主要プロジェクトに位置づけています。
	○一つにまとまった「関西」を打ち出すことが大事。 (また都市ごとに、どの分野で日本やアジアの中核になるのか考えるべき)	○関西各都市・各地域及び経済界等(=多様な主体)の協働による効率的かつ効果的な計画の推進方策について、現在検討しています。
榎村久子 委員 (環境計画)	○物質循環の拠点づくりが重要。	○循環型社会の重視を目指す圏域像に位置づけ、リサイクルポート等による静脈物流ネットワークの構築、廃棄物系バイオマスの推進などを戦略に掲げてます。
	○環境などライフスタイル・イノベーションを関西がモデルとなってアジアに示すべき。	○環境問題で世界に貢献する圏域を目指す姿像に位置づけ、環境負荷の少ないシステムやライフスタイルを海外に発信することを戦略に掲げています。
	○地球温暖化対策は、普及啓発の段階はおわり、具体的に実施する段階にある。	○「CO2削減と資源循環プロジェクト」を主要プロジェクトに位置づけ、その中で具体の取組を検討することとしています。
三野 徹 委員 (農業土木)	○限界集落については、二地域居住を絡めて検討すべき。	○二地域居住などの多様なライフスタイルが選択できる圏域を目指す姿に位置づけ、多様な人モノ情報等の都市と農山漁村の往来、新たな公に関する取り組み等を戦略に掲げるとともに、「農山漁村活性化プロジェクト」を主要プロジェクトに位置づけています。
	○関西をとりまとめるガバナンス機能が必要。	○関西各都市・各地域及び経済界等(=多様な主体)の協働による効率的かつ効果的な計画の推進方策について、現在検討しています。
	○環境は関西の強み。	○世界的環境先進圏域を目指す姿に位置づけ、世界に貢献できるエネルギー・環境産業の育成を戦略に掲げるとともに、「CO2削減と資源循環プロジェクト」を主要プロジェクトに位置づけています。
宮川豊章 委員 (土木材料学)	○今あるもの(ストック)を守り、新しく作るものも丈夫で美しく長持ちさせることが重要。	○安心して生活・産業活動ができる圏域を目指す姿像に位置づけ、歴史文化資産の保全や防災減災対策の推進を戦略に掲げるとともに、「広域防災危機管理プロジェクト」を主要プロジェクトに位置づけています。